

平成23年度 学校評価 について

広島市立安佐中学校

本校では平成23年度、「学力の向上」「豊かな人間性の育成」「まちぐるみによる教育の推進」「体力の向上」の各領域においてそれぞれ努力目標を掲げ、日々の教育実践に取り組んできました。本年度もその成果をできるだけ客観的にとらえるため、生徒、教員、保護者及び学校協力者会議の方々を対象にアンケート調査を行ってきました。それらをもとに目標の達成度、成果と課題をまとめましたので報告いたします。

(〇) 目標を達成できた
 (^-^) 目標をほぼ達成できた
 (-^-) 目標を十分達成できなかった
 (>.<) 目標を達成できなかった

学力の向上

○生徒が自ら学び追求する学習集団を育てる。

<評価> 具体的方策① 自主学習(宿題等を含む)を1, 2, 3年で1, 1, 2時間を達成させる。

(^-^) ◎改善点 ◎教科担任が課題をただ出すだけでなく、学級担との連携を密にし、生徒が家庭学習の効果を実感できるよう、よりきめ細かい指導をする。

自主学習を1・2年は1日1時間、3年は1日2時間意識して学習している(生徒・年間平均)

よく やや あまり まったく



自主学習を1・2年は1日1時間、3年は1日2時間が達成できている(生徒・年間平均)

よく やや あまり まったく



<評価> 具体的方策② 授業規律の確立により一人ひとりの学びを向上させるための学習集団を育成する。

(^-^) ○分析 ○年度初めから行ってきた一斉指導は有効である。

◎改善点 ◎今後も授業担任と連携を図ることで授業規律を定着させる。

自分のクラスは私語をすることなく授業を受けている(生徒・年間平均)

よく やや あまり まったく



クラスは着ベルを守っている(生徒・年間平均)

よく やや あまり まったく



豊かな人間性の育成

○教員間の交流、研修を通して道徳授業展開の技量向上を図る。

<評価> 具体的方策 ・2ヶ月に一度、道徳の学年研修会を持つ。

(〇) ・VTRでの授業観察や交流などから、改善への情報を共有し心的内化への手だてを練る。

◎改善点

◎「まったくあてはまらない」と回答する生徒の割合が固定化しつつある。魅力ある道徳の時間とするために研修をさらに充実させていく。また道徳の時間と特別活動や各教科や総合的な学習、地域家庭との連携をさらに強めるために、時期や内容など工夫する。生徒アンケートをとり、よりよい授業、道徳資料の提示を目指す。

道徳の時間には自分の考えを深めることができている(生徒・年間平均)

よく やや あまり まったく



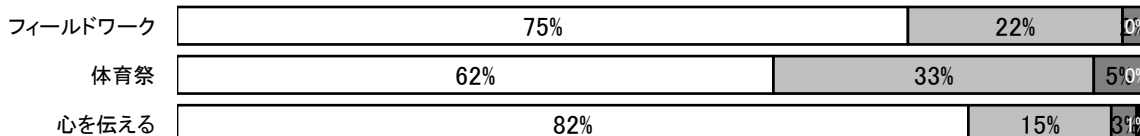
○体験学習や行事に対して意欲的に取り組ませ充実感を味わわせる。

<評価> 具体的方策 目的と見通しをもたせるなど意欲を喚起し、生徒と生徒あるいは生徒と教師の人格形成を意識した共感的かわりをもたせる。

(〇) ○分析 ○行事をそれぞれの行事として終わらせるのではなく、年間を通してつきたい力として明確にすることが課題である。生徒の発達段階を意識した人格形成や集団づくりに生かせるような工夫をする。

体験学習や行事に意欲的に取り組んだ(生徒)

よく やや あまり まったく



○生徒、教師の美化意識および相手を尊重する意識の啓発(掃除・挨拶・敬語など)を毎日の具体的活動場面で徹底する。

〈評価〉 具体的方策

掃除の週目標の徹底と掃除の仕方の定期的な診断を行うことで美化意識を高める。

〇分析
◎改善点

○内容を統一した「清掃点検表」を作成し、それに基づいて清掃活動を行うようにしたこと、「週目標」の意識が高まったものとする。
◎掃除道具の正しい使い方や管理の仕方、掃除の仕方など年度初めにより具体的に提示し徹底する。

清掃では自ら進んで学校を美しくするように取り組んでいる(生徒・年間平均)

□よく □やや □あまり ■まったく



清掃時には担当場所に行き、指導、助言、評価をしている(教員・年間平均)

□よく □やや □あまり ■まったく



体力の向上

○将来にわたって運動に親しむために、生徒一人ひとりが体力の向上を図ると共に、自らの生活習慣、食習慣、運動習慣を見つめ直すことを通じて、自ら健康体力づくりを行う姿勢を培う。

〈評価〉 具体的方策

運動習慣の改善

〇分析
◎改善点

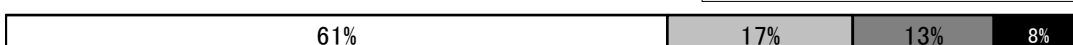
保健体育の授業に加え、自発的運動に取り組む啓発を行う。

○クラブ活動や校外での社会体育の活動に参加している生徒が多く、日頃から運動に積極的に取り組んでいるように思われる。

◎保健体育の授業やクラブ活動の充実に加え、どのような取り組みができるのか検討し、具体的な取り組みを行う。

週3回以上の自発的運動に取り組んだ(全平均)(生徒・年間平均)

□よく □やや □あまり ■まったく



まちぐるみによる教育の推進

○ゲストティーチャーを活用して授業を充実させる。

〈評価〉 具体的方策

必修教科、選択教科、体験学習、総合学習、道徳などにおいて積極的に地域人材に協力を依頼する。

〇分析
◎改善点

- ①「FW in九州」(2年)
- ②「被爆体験を聞く」(1年)
- ③「アニメジュノー鑑賞」(1年)
- ④「被爆体験を聞く」(2年)
- ⑤「平和集会」(全学年)
- ⑥「生き方学習」(3年) 卒業生の話聞く
- ⑦「職場体験」(3年)
- ⑧「職場体験」(2年)
- ⑨「防犯教室」(全学年)
- ⑩「防災教室」(1学年)
- ⑪伝統文化「能」の鑑賞・体験(2・3年)

○毎月、学校を公開する行事を組み込むとともに「学校だより」「WEBページ」により、情報発信を行う。

〈評価〉 具体的方策

参観日、懇談会、説明会等により、毎月保護者地域に学校を公開する行事を組み込む。学校の取り組みを、毎月WEBページで更新し、情報を発信する。

〇分析
◎改善点

- 各行事に、多くの保護者及び地域の方々に参加していただき、学校及び生徒の様子を知ってもらう良い機会になっている。
- 校長室便りを新設し、学校の情報をよりはっきりと発信することができた。
- 体育祭や警報発令時には、携帯電話用Webページを今年度以上に活用する。

* ご意見、ご要望をお寄せください。

安佐中学校ホームページアドレス <http://www.asa-j.edu.city.hiroshima.jp> 電話877-0111